

# センシング&デバイス事業

さまざまな産業製品のコアとなる  
デバイスを世界中に供給し、  
人々の暮らしを便利にして、  
安全・安心で快適な社会をつくる



## 事業領域

センシング&デバイス（以下S&D）カンパニーは、光通信市場への事業展開を進める一方で、事業拡大に向けてセンシング市場の開拓を進めています。

光通信市場においては、光信号をそのまま増幅する光ファイバーアンプに用いられる励起用の半導体レーザーや光信号の劣化を防ぐ目的で光トランシーバーに搭載される半導体光増幅デバイスを供給しています。センシング市場においては、社会環境の変化にビジネスの機会があると考え、ここ数年は、社会の高齢化が進み市場が拡大している眼科医用機器市場への取り組みを強化しています。一例を挙げると、白内障治療として混濁した水晶体の代わりに人工レンズを入れる際、この度数を決めるための眼軸長の測定に、また加齢黄斑変性症や緑内障の早期発見のための網膜の断面測定に、当社の光源を使用することができます。その他、ガス漏洩を検知する機器などにも光源を供給しています。また、アンリツグループのコアコンピタンスを担うデバイス部門として、社内の通信用計測器にキーデバイスを供給しています。

## 市場環境と事業機会

アンリツが保有する化合物半導体の一つであるInP（インジウム・リン）デバイスは、これからのオール光ネットワーク時

執行役員  
センシング&デバイスカンパニー  
プレジデント

橋本 康伸



代や6Gでの活用に期待がかかる新しいミリ波領域において、その高速性と高周波特性から市場価値は上がるものと考えています。

波長多重帯域の拡大が予想される光ファイバーアンプには、励起レーザーの高出力化と波長対応を、そして、半導体光増幅デバイスにおいては、光トランシーバーの長距離化と小型化、および低消費電力化への対応を進めています。また、このような半導体光増幅デバイスは、長距離用途にて高出力のレーザーが必要とされる産業分野のライダーや光ファイバーセンシング分野などでも需要が期待できます。これらの新しい光センシングビジネスの機会獲得、そして、実績ある眼科医用機器向け光源のビジネス展開も積極的に行い、S&D事業の成長を果たしていきます。

## S&D事業が取り組むSDGs

S&D事業は、安定した通信環境の構築、高齢化社会における医用機器、ガス漏洩を検知する機器などのさまざまな産業製品のキーとなるデバイスを世界中のお客さまに供給することを通じて、SDGsの目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」と目標11「住み続けられるまちづくりを」に貢献していきます。

### 通信

光ファイバーアンプ、光トランシーバーなどに用いられる励起用半導体レーザー（Pumpレーザー）や半導体光増幅デバイス（SOA）などの製品が通信ネットワークを支えています

